

## 経済指標が示す “仙台の活気”を 事業に生かしながら、 事業展開の見直しを。

日本銀行仙台支店長  
仙台商工会議所 顧問

うしろ しょう じ  
**後 昌 司 氏**

### プロフィール

1960年生まれ。埼玉県出身。  
1983年東京大学経済学部卒業後、日本銀行に入行。金融市場局調査役、システム情報局システム企画課長を経て、2005年前橋支店長に就任。業務局審議役を経て2012年6月より現職。



### 仙台の活気を 東北に伝搬

— 仙台支店長に就任されて1年、仙台のまちをご覧になって、どのような印象をお持ちですか。

一言でいえば、活気溢れる街だと思います。現在、日本各地の地方都市を回ってみると、人口減少や中心市街地の空洞化から元気がないところが多いのですが、ここ仙台は幸いにもそういう印象は受けません。休日の中心商店街は大変な人出ですし、ホテルの稼働率や不動産取引などの経済指標をみても非常に好調です。復興需要の恩恵があることももちろんですが、それを除いたそもそもの都市としての力が非常に強い「実力のある街」という印象です。さらに一年を通じて様々なイベントが繰り広げられ、人が集まる「仕掛け」がうまく機能している点も見逃しません。

被災地ではあったものの宿泊施設や、国、企業の出先機関などのインフラが整っていたここ仙台を基地として、被災沿岸部に対する支援ができたわけで、復旧・復興の牽引役として仙台の果たした役割は非常に大きいものがあつたともいます。東北が元気になるには、先ずはその中心である仙台に活気、パワーがなければなりません。その意味で当地の今の賑わいをもっともって続けて欲しいと願っています。

— 仙台経済の現状について教えてください。

ださい。

最近の有効求人倍率や、今年の公示地価の上昇率などをみると宮城県は全国一位ですし、この他の様々な経済指標をみても宮城、中でも仙台は全国の平均と比較し経済活動は非常に活発であると言えます。

このような街には、人、モノそして情報が集まってくるので、企業活動を展開する上で必要な資金の借入れもニーズも高まります。金融面でみても、仙台は東北の中で最も資金需要がある活力ある都市です。このため金融機関の貸出をみても、当地は他の東北各県と比べても、また全国平均と比べても高い伸びを続けています。

— 経済活動が活発に行われている仙台地区。今後の課題をどのようにお考えですか。

東北全体でみると人口減少が続く中で、仙台だけが賑わう一方、東北の他地域は停滞するという構図をいかに回避していくかが課題です。こうした状況は全国の他地域でも同様で、例えば北海道でも札幌とそれ以外の都市との格差は広がる一方です。仙台以外の東北の都市に仙台にはないどのような強みがあるのか、それを生かすには何をすればよいのか、仙台と他都市との役割をどう切り分けたらよいのか、そういう点を他の都市と一緒に考えていくことが重要なのではないのでしょうか。

また、復興需要は当然ながら一時的なものです。この需要で財務内容が改



就任後初の地方出張として被災地を訪問した黒田総裁とともに（今年6月）

善した企業は少なくありません。体力がついた企業が、復興需要の一巡した後、どんな分野で業績を伸ばしていけばよいのかを、今のうちから考えておくことも大きな課題です。

### 「アベノミクス」がもたらす影響

「いわゆるアベノミクスが、仙台及び東北の中小企業にもたらす影響とは、どのようなことが考えられますか。」

仙台あるいは東北は、全国と比べると、アベノミクスの恩恵の度合いはやや少ないと思います。まず、円安による企業の恩恵ですが、もともと東北には完成品を輸出するメーカーが余り多くないので、円安メリットは限定的です。また株高に伴う資産効果についても、東京、大阪などではデパートの高額品を中心に消費が刺激されていると

いう話を聞きますが、仙台をはじめとする地方都市ではその効果はまだ広範にはみられていないようです。

アベノミクスは、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略、という「三本の矢」を基本方針としていますが、その中核をなすのは三本目の成長戦略です。そこで謳われている農業の6次産業化や、再生可能エネルギー、医療・介護ビジネスなどは、東北地方の強み、産業構造とも関係の深いテーマですので、復興需要で体力の付いた当地の企業の方たちに積極的にこうした分野にチャレンジをしてほしいと思います。ただ、有望分野はそれだけではありません。成熟市場と思われていても、アイディア次第でまだまだ伸び代があるという例も少なくありません。「人口減で市場縮小だから仕事は先細り」という先入観で思考停止するのではなく、ビジネスチャンスを自ら考えて事業展開することも重要だと思えます。

### 東北のマーケットにビジネスを見いだす

「最後に、今後の東北・仙台の経済の見通しについてお聞かせください。」

ここ数年の間は復興需要が当地の経済を下支えしてくれるとみていますが、その先を展望して何をなすべきかを考えていくことが大切です。それには、東北地方の良い点も悪い点も含め

た特徴を生かしてチャンスを見出していくべきです。例えば、先ほど有望な分野の一つに医療介護ビジネスを挙げましたが、全国のどの企業もそれは当然分っており、この分野での競争は楽ではありません。そうした場合、東北のように高齢化が進み、かつ広範な面積の中に集落が分散している、また豪雪地帯も多い、という弱みを抱えている地域が、逆にこれを克服できるビジネス、例えばですがITを活用した遠隔医療などで特徴あるサービスを提供できれば、これを東北発のビジネスモデルとして全国に、更に夢を語れば日本に続いて高齢化が進展してくる韓国や中国にも展開できるのではないのでしょうか。

こうしたニーズは企業だけで発掘するのは難しい側面もあります。そうした意味では全国に展開する商工会議所のネットワークを使い、会議所からみた潜在需要の紹介や、他地域での成功失敗事例を通じたアドバイスなどに大いに期待しているところではあります。

#### 【概要】

#### 日本銀行仙台支店

代表者：後昌司

事業内容：宮城県、岩手県、山形県を業務区域として、銀行券の発行と管理、金融システムの安定に関する業務、金融政策の運営など業務を行っています。

所在地：仙台市青葉区一番町3-4-8  
TEL.022-214-3111（代表）

ホームページ

<http://www.3.boj.or.jp/sendai/index.html>

# 海

## 生命の母、たったひとつの『海』。

地球上のありとあらゆる生命の源、『海』。この、『母なる海』を、美しいままで未来へと残していかなくてはなりません。21世紀の子供たちも、今と同じようにこうして海で夏を過ごせるように。そう私たちは考えています。私たちは青葉環境保全です。

——より良い環境をめざす——  
**AOBA 青葉環境保全**

本社／仙台市若林区蒲町19-1

電話(022)286-3161(代)